

看護

あきた

Vol.127

Nursing Akita

平成28年度 4号

公益社団法人 秋田県看護協会会報

- [目次]
- 1 シリーズ認定看護師 こまち紹介
 - 2 地区支部活動報告
 - 3 平成28年度認定看護管理者教育課程



(秋田市 新屋桜並木)

- 5 理事会だより・安全情報
- 6 役員等立候補者の公表
- 7 事務局からのお知らせ

平成28年度会員数 7,034名 (H28.9.30現在／最終)

保健師 254名 助産師 312名 看護師 6,277名 准看護師 191名

わたしのまちの看護師さん

シリーズ 認定看護師

「こまち」紹介

毎回、看護の専門性をたゆみなく探求し続ける認定看護師さんをご紹介します。

北埜 さつきさん

こまち File No.45

地方独立行政法人 秋田県立病院機構
秋田県立リハビリテーション・精神医療センター
認知症看護認定看護師

今取り組んでいること

認知症看護認定看護師の役割とは、認知症者の療養環境を整え、その方の尊厳や意思を尊重した看護実践と、看護職への指導、相談です。私は資格取得後、病棟業務の中での看護実

践を中心に活動しています。認知症者はケア提供者の鏡のような存在です。相手を笑顔にしたいと思うならば、私たちが笑顔でなければなりません。まずは、いま目の前にいる認知症者が笑顔で、穏やかな気持ちで過ごすことができるようなケアを目指しています。また院内外からの依頼に応じ、認知症ケアに関する講演会の講師や、日本赤十字秋田看護大学 認定看護師教育課程 1期生として秋田県認知症看護認定看護師ネットワークの立ち上げに関わり、秋田県内の認知症ケアの質の向上を目的とした活動を行っています。



これからやりたいこと

現在、指導や相談といった役割がうまく果たせていない点にジレンマを感じており、今後は、他病棟の看護師や多職種との連携、院内認知症ケアチームの立ち上げなどを思索しています。



武石 優子さん

こまち File No.46

平鹿総合病院 看護部 乳がん看護認定看護師

今取り組んでいること

乳がんは早期発見により治癒が見込まれる疾患ですが、再発するとがんの進行を緩やかにしながらの療養生活が中心になります。再発の治療期間が他のがんと比較し長期間となり、心身の苦痛への対応と支援が必要になるため、再発乳がん患者と家族への看護面談を定期的を実施し、アドバンス・ケア・プランニングを視点とした支援体制に力を入れています。また、院内の乳がん看護の基準化を目的に、担当病棟と連携し勉強会を開催、ケアマニュアルや患者指導用パンフレットを作成しています。病棟との連携は、乳がん看護の向上のみに限らず、外来・病棟間のケアの分担を明確にし、業務改善が軽減にもつながることを目的として取り組んでいます。

これからやりたいこと

今後は、院内のがん看護の向上を目的とした学習会やケアに活用可能なツール作成を、他分野の認定看護師と協同し取り組んでいくことを計画しています。



地区支部 活動報告



北秋田 地区支部

北秋田地区支部長 畠山 淳子

「まちの保健室」

例年通り6月5日「もちっこ祭り」イベント会場で開催した「まちの保健室」には「今年も来たよ」と準備前から並んでくださる地域の皆さんの笑顔に、今年も開いて良かったと感謝をしながら継続していく事の大切さを実感しました。110名の血圧を測りながら、病気のことや家のことなどなんでも話してくれる皆さんにとって、看護職は心の拠り所になっていける仕事である事を再確認させていただいた1日でもありました。これからも地域住民の健康の守り手として活動していきたいと思います。



「ふれあい看護体験」

今年はじめて、管内の中学生を対象に7月29日「ふれあい看護体験」を開催しました。白衣姿が本当に初々しく、なかにはサイズが大きく着慣れない人もいましたが真剣に話を聞いたり、看護体験をする姿に感動を覚えました。



講話や座談会にはお母さんも参加して下さり進路についての質問が出るなど有意義な看護体験の日となりました。今後も中学生を対象に開催し看護職の仕事のアピールや進路決定の支援につなげていけるよう取り組んでいきたいと思っています。



能代・山本 地区支部

能代・山本地区支部長 佐々木 冷子

「あなたは地区支部をご存知ですか？」

能代山本地区支部の会員数は552名です。

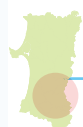
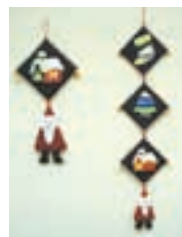
秋田県看護協会には9の地区支部があります。それぞれの地域において看護に関する研修や研究会を実施しています。また健康に関するイベントや、商業施設などで「まちの保健室」を開催し、地域の皆様の健康づくりをお手伝いしています。「まちの保健室」とは学校に保健室があるように「地域の皆さんが気軽に健康相談できる場」として各地域で取り組んでいる事業です。

能代市で7月に行われている老人月間に地区支部も参加しました。安心で安全な健康生活が送れるよう地域との交流・連携に努めております。

秋田県の高齢化率はご存知の通りナンバーワンであります。「高齢者の認知症の関わりについて」をテーマに認知症認定看護師から専門の知識を学びました。



地域包括システムの推進が急務となっている今、看護職が積極的に地域の関係者とのネットワークを構築していくための、看護サービスの手法について平成29年度は訪問看護認定看護師による、研修会を企画しております。地区支部の活動にもぜひ皆さま参加してください。



横手 地区支部

横手地区支部長 佐藤 京子

「第10回職業体験総合学習フェア・仕事の王国」

7月23日秋田ふるさと村で開催された「働く車大集合！&仕事の王国」に参加しました。私たちは、



小さな看護師さんという事でエプロンを身に付け注射や処置のまねっこと感染の認定看護師の協力を得て、歌に合わせた手洗いも楽しんでいただきました。親御さんたちが子供の姿を見てとても感動し、記念撮影をする

など親子の触れ合いの場になったと思います。

「ふれあい事業社会福祉施設等贈呈」

地域で障害のある方々に就労移行支援をしている社会福祉法人五輪坂秋峰会「ルビナス」に基金を贈呈しました。横手市十文字地域局から徒歩1分の所にある施設で、1階ではカフェを運営していました。障害者の方が調理やウエイトレスなどの業務をし、地域交流の場の提供と自立に向けた支援を行っていました。笑顔で働いている姿が印象的でした。基金でカッティング用品を購入し、店内の飾りつけに使用しているそうです。



平成28年度 認定看護管理者教育課程

ファーストレベルを終えて

教育目的

- 1) 看護専門職として必要な管理に関する基礎的知識・技術・態度を習得する。
- 2) 看護を提供するための組織化並びにその運営の責任の一端を担うために必要な知識・技術・態度を習得する。
- 3) 組織的看護サービス提供上の諸問題を客観的に分析する能力を高める。

内 容

- 1) 研修期間：平成28年5月23日～10月1日（29日間、計153時間）
- 2) 受講者数：66名、修了者数：64名

ファーストレベル教育課程を受講しての学び（12月12日の閉講日、修了者の発表から一部抜粋）

■研修を終えて感じることは、全ての教科目において共通していたのは、患者家族にとって最善の看護を提供するために必要とされる知識や考え方であった。講義やレポート作成の中で、自分の行っている看護や倫理観を振り返る機会となり、内省することも多かった。主任看護師としてチームに貢献できるよう、研修で学んだことを還元していきたい。また、看護専門職としての自覚と責任を持ち、向上する気持ちを忘れずに成長していきたい。

■ファーストレベル受講では、レポートの取り組みが一番大変であったと感じている。しかし、課題に取り組む中で、医療情勢や職場の現状や課題についてじっくりと考える機会となった。また、文献検索や文献を読むという作業は、自分の考えや実践を裏付けると共に、新たな発見に繋がった。繰り返しレポートに取り組む中で、重複する課題もあり、改めて自分が課題と感じている内容に気付くことができた。レポートを通し、論理的に物事を整理し記述することを学んだ。講師の先生方からも沢山の書籍を紹介していただき、受講期間には読み切ることが出来なかったが、今後継続して書籍を読む習慣を身に付けたい。レポートの結果に不安はあったが、一つ一つレポートを完成することで得られた達成感は心地よいものであった。

■看護は人と人との繋がり、人と人との支えがあって成立していく。スタッフとの関係、患者さんやその家族との信頼関係を構築していくうえで、相手を攻めるばかりではなく、その人の気持ちや素敵なところを引き出し、尊重し、受け入れ、褒める精神を大切に、自分の想いを伝え、互いを理解し合える関わりを深く持ちたい。そのためには、心のバットを捨て、やわらかい心のミットをかまえ、豊かな視点をもつ自分へと変化させていきたい。そして、自分から変革を起こす姿勢を大切に、スタッフを巻き込みながら実践に活かし、やりがいのある看護を実感でき、看護への士気向上につながる環境づくりに取り組んでいきたい。

最後に、このファーストレベルでのすべての出会いと学びを大切に、自分のありたい姿を常に描き、つまずくことを恐れず、実践につながる意欲と一歩踏み出す勇気を、大きな活動力にしていきたい。このファーストレベル教育課程のように、振り返ったときに「大変だったけど楽しかった」と思えるよう、その一瞬、今を大事にし、日々の看護に取り組んで行きたい。そして、日々の看護を通して、自分の人生キャリアをより豊かにし、自己成長へとつなげていきたい。

■ファーストレベルを受講して得られたのは、知識や気付きだけではなく、同じ悩みを語り、情報交換するなどクラスメイトの存在は大きく、共に学んだ時間は貴重であったと感じている。また、受講に快く送り出してくれた上司や職場の協力に感謝したい。ファーストレベルの受講を通して、受講前に感じていた「看護の質とは何か」「看護管理者とは何か」という疑問の答えと課題解決のヒントが得られたと感じている。今後は、職場の問題一つ一つを丁寧に分析しながら、日々の看護実践と照らしあわせた対策につなげていきたい。

セカンドレベルを終えて

教育目的

- 1) 第一線監督者または中間管理者に求められる基本的責務を遂行するために必要な知識・技術・態度を習得する。
- 2) 施設の理念ならびに看護部門の理念との整合性をはかりながら担当部署の看護目標を設定し、その達成をめざして看護管理過程が展開できる能力を高める。

内 容

- 1) 研修期間：平成28年9月1日～11月11日
- 2) 受講者数：31名、修了者数：30名
- 3) セカンドレベル受講して（修了生の学びから一部抜粋）

★講義と演習からなる182時間の研修に臨み、課題やレポートの作成に没頭し、濃厚な時間を乗り越えることができたのは、真摯に看護職の責務を考える同志の出会いがあり、互いに声を掛け合い、支えあい、常に最良の結果を目指し努力することができた。

★これから、日本は超高齢化社会を迎え、入院患者の高齢化や、重症化も益々進むと言われている中、医療や看護の現状を見据えて、現場を俯瞰する力を身に着けるための、多岐にわたる内容の講義を受講し、看護師は地域の中で、どんな役割を担っていくのか、また、看護師の質向上のためにどう行動すべきなのかなど、今後の課題を実感した研修だった。

★情報システムを取り巻く脅威がよく分かった。

★まだまだ頑張れると自信をもらい、丁寧にコツコツと進めていこうと思った。

★講師の「やるしかない」と腹をくくるといふ熱い思いが強く伝わってきた。ことができた幸せな時間であった。

★看護の可能性が無限大であると感じた。

★講義を聴き、管理者として頑張っていこうという気持ちになった。

研修アンケート結果

職 位	N29(人)	受講費用	N29(人)	所属施設の病床数	N29(人)	研修を他者に勧めるか	N29(人)	研修全体を通しての感想 (複数回答)	N29(人)
看護師長または相当	21	全額公費	4	50～99床	2	すすめたい	27	問題解決の方向性が得られた	20
副看護師長または相当	5	受講料のみ公費	3	100～299床	7	すすめない	0	充実感が得られた	10
看護主任または相当	3	受講料半額公費	2	300～499床	12	どちらともいえない	2	期待どおりの内容だった	2
職 種	(人)	受講料半額と交通費全額公費	1	500床以上	8	本教育課程の周知 (複数回答)	(人)	リフレッシュになった	10
看 護 師	28	全額私費	19	目標の達成	(人)	教育計画冊子	9	受講者間のネットワークが 広がった	19
助 産 師	1			達成できた	2	看護あきた	4	課題を共有できる仲間がで きた	22
保 健 師	0			ほぼ達成できた	25	ホームページ	5	その他	1
経験年数	(人)			あまり達成できなかった	2	上司の勧め	5		
15年～20年	1			達成できなかった	0	同僚の勧め	1		
20年～25年	9			研修内容の活用	(人)	その他	2		
25年～30年	8			活用できる	9				
30年以上	11			ほぼ活用できる	11				
				一部活用している	9				
				あまり活用できない	0				
				活用できない	0				

平成28年度認定看護管理者教育課程セカンドレベルは30名が修了しました。講義、演習の中で素晴らしい講師との出会い、受講生同志ではネットワークの絆を深め、多くの学びをし、何にも代え難い宝物を得たことと思います。

今後のご活躍を、心から期待します。

認定看護管理者教育課程 専任教員 工藤一子・小沼弘子



第1期生 (平成27年度修了生)

認定看護管理者教育課程サードレベル修了者 看護管理実践報告会

日 時 平成29年2月10日 9:30～16:00

場 所 看護センター 第一研修室

ね ら い 認定看護管理者教育課程サードレベルでの学びを看護実践
の場で活用していることをお互いに紹介し、
マネジメント能力の更なる拡大をめざす。

参 加 者 平成27年度修了者14名



参加者のサードレベル修了後実践報告書をまとめるまでの感想(実践報告発表一部紹介)

- 学んだことは、すべてプラスになると思い、日々の看護管理実践に臨んだ。
- 学んだことは、多職種連携で、要所、要所で活かされていると感じながら日常業務に臨んだ。
- 看護管理実践での、交渉の準備するにあたって学んだことが活かされた。
- 病院の中だけにとどまらず、地域の視点に立たなければ、病院が見えてこないことが分かった。
- 受講してから退院支援の考え方が変わった。
- 自部署だけで完結するのではなく、施設間の垣根を超えて、潔さが身についた。

サードレベル受講しての学びを、日々の看護実践に活かした成果について、とめどもなく熱く、熱く、語り、情報
交換が展開されました。
今後のご活躍を、心から期待します。

認定看護管理者教育課程 専任教員 工藤一子



平成28年度 訪問看護師養成講習会を終えて

1. 目 的

- 1) 在宅ケアを必要とする人とその家族に対して質の高い看護を提供するために、地域の特性や生活状況を踏まえた、訪問看護に必要な最新の知識・技術を習得する。
- 2) 在宅ケアチームにおけるメンバーそれぞれの役割を認識し、関係機関との連絡・調整を可能とする訪問看護従事者としての資質向上を図る。

2. 実施内容

- 1) 開催期間・時間数：平成28年5月6日～9月5日(28日間、計153時間)
- 2) 受講者数：13名、修了者数：13名
- 3) まとめ(受講者のアンケート結果から一部抜粋).....



閉講式を迎えた日の受講者の皆さんです!!

1 講習会に関する期待(複数回答)

No.	内 容	人数
1	訪問看護の知識習得	13
2	介護保険・ケアマネジメントの知識習得	5
3	実習による他施設の理解	5
4	他の職場の人との交流	2
5	地域連携、退院支援などに役立てる	3

2 目標の達成

No.	内 容	人数
1	達成できた	2
2	だいたい達成できた	13
3	ほとんど達成できなかった	0
4	達成できなかった	0
5	どちらともいえない	0

3 今後の看護実践への活用

No.	内 容	人数
1	活かすことができる	13
2	活かすことができない	0
3	どちらともいえない	0

4 講習会の感想

- 訪問看護師としてのスキルアップだけではなく、看護師という専門職としての基礎的な知識・技術の振り返りと修得ができました。長い期間の研修ではありましたが、本当にありがとうございました。
- 他施設の方々と交流できた。また、実習を通して、ステーション・介護福祉施設等の現状を知ることができた。
- 在宅療養について興味があり、吸い込まれるように講習を受けさせていただきました。看護師という狭い視野の自分でした。もっと若い時から受けていたら良かったと思いました。

- 普段接することができない講師の先生方とお会いできたことは、貴重な時間だったと思う。この出会いは、今後に役立つと思う。ありがとうございました。
- 基本から実践まで、幅広く学ぶことができた。
- 訪問看護にまつわるエトセトラ。気持ちや考えに共感できたり、勉強になったりと、人としてナースとして豊かになった気がします。ありがとうございました。
- 5か月でしたが、心のこもった愛のある研修だと感じました。

♥来年度も看護職の皆さまの受講をお待ちしております。在宅看護にご関心のある方、一緒に学びましょう!!

理事会 だより

第7回 理事会

日 時 ■平成29年1月25日(水) 午後1時30分～午後3時55分

場 所 ■秋田県看護協会 第一研修室／出席者 ■理事18名、監事2名／欠席者 ■理事1名、監事1名

1. 議 事

- 1) 平成29年度秋田県看護協会重点事項(案)について 承認
- 2) 平成29年度秋田県看護協会事業計画(案)について 承認
- 3) 平成29年度教育計画企画(案)について 承認
- 4) 平成29年度秋田県看護協会通常総会議案及びプログラム(案)について 承認
- 5) 平成29年度秋田県看護協会会長表彰受賞者(案)について 承認
- 6) 第53回献血運動推進全国大会での献血車両の寄贈について 承認
- 7) 教育会議の再開について(案) 承認
- 8) 公益社団法人秋田県看護協会創立70周年記念事業委員会規程(案)について 承認
- 9) 訪問看護ステーションおおだてハチ公運営規程の一部改正について(案) 承認
- 10) 地区支部委員の変更について 承認

2. 協議事項

- 1) 日本看護協会への要望について
- 2) 平成29年度予算積算状況について

3. 報告事項

- 1) 会長(代表理事)の職務執行状況報告
・日本看護協会理事会報告
- 2) 三職能・地区支部事業報告
- 3) 常務理事(業務執行理事)の職務執行状況報告
- 4) 会計報告
- 5) 各地区支部集会について
- 6) 平成29年度日本看護協会通常総会一般参加者について
- 7) 平成29年度秋田県看護協会改選役員・推薦委員候補者の推薦、平成30年度日本看護協会代議員及び予備代議員候補者の推薦について
- 8) 立入検査の結果について
- 9) 平成29年度秋田県看護協会及び日本看護協会行事日程について
- 10) その他
 - ①健康づくり人材の多様な働き方研究事業について
 - ②平成29年度国民体育大会東北ブロック大会兼第44回東北総合体育大会について
 - ③ナースシップについて
 - ④災害時ジャケットの寄付について
 - ⑤地域医療調整会議の委員について
 - ⑥小児救急電話相談について

※概要を知りたい方は、当協会ホームページ(<http://www.akita-kango.or.jp/>)をご覧ください。ホームページにアクセスできない方は、当協会にご連絡ください。

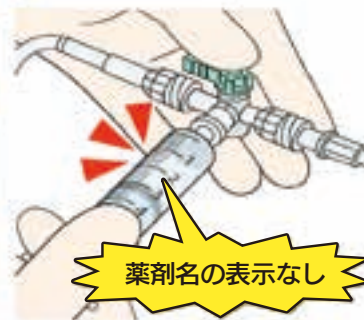
医療・看護安全委員会

安全情報
No.14

薬剤名の表示がない注射器に入った薬剤を投与したところ、意図した薬剤とは別の薬剤であった事例が報告されています。

注射器のサイズ	意図した薬剤	誤って投与した薬剤
5mL	プロハンス静注(MRI用造影剤)	チトゾール注用(全身麻酔剤)
20mL	生理食塩液	ヘパリン(1万単位) +生理食塩液
20mL	ガスター注射液1A +生理食塩液	フェンタニル注0.1mg5A +生理食塩液

イメージ



事例が発生した医療機関の取り組み

- ・準備した注射器には必ず薬剤名を表示し、投与直前に確認する。

平成29年度

役員等立候補者の公示

について

平成29年度役員等の選挙について、次の候補者が立候補されましたので公示します。

平成29年3月3日
秋田県看護協会選挙管理委員会
委員長 佐々木 早苗

1. 理事・監事候補者

(任期－理事2年、監事4年 所属－平成29年2月15日現在)

役職名	氏名	職種	所属施設名	協会活動歴	摘要
理事	佐藤 道子	保健師	秋田県総務部人事課	現理事(副会長)	推薦委員会推薦
理事	酒井 陽子	保健師	在宅	現理事(保健師職能)	推薦委員会推薦
理事	篠田 玲子	助産師	在宅	現理事(助産師職能)	推薦委員会推薦
理事	小沼 弘子	看護師	秋田県看護協会	元看護学会委員会委員	推薦委員会推薦
理事	木村 陽子	看護師	かづの厚生病院	－	推薦委員会推薦
理事	成田 久美子	看護師	秋田労災病院	元地区支部委員(監事)	推薦委員会推薦
理事	畠山 淳子	看護師	北秋田市民病院	現理事(北秋田地区)	推薦委員会推薦
理事	森 睦子	看護師	能代山本医師会病院	元医療看護安全委員会委員	推薦委員会推薦
理事	成田 睦子	看護師	市立秋田総合病院	元教育委員会委員	推薦委員会推薦

2. 推薦委員会委員候補者

(任期－2年、所属－平成29年2月15日現在)

氏名	職種	地区	所属施設名	協会活動歴	摘要
佐藤 優子	看護師	中央	秋田県立医療養育センター	－	推薦委員会推薦
柳田 広美	看護師	県南	平鹿総合病院	－	推薦委員会推薦
吉田 真理子	看護師	県北	北秋田市民病院	現推薦委員会委員	推薦委員会推薦

平成30年度

代議員等立候補者の公示

について

平成30年度日本看護協会代議員及び予備代議員について、次の候補者が立候補されましたので公示します。

平成29年3月3日
秋田県看護協会選挙管理委員会
委員長 佐々木 早苗

1. 代議員候補者(推薦委員会推薦)

(代議員数7名、任期－平成30年度1年間、所属－平成29年2月15日現在)

No	推薦区分	氏名	職種	所属施設名	協会活動歴
1	保健師職能	小川 直子	保健師	由利地域振興局	現保健師職能副委員長
2	助産師職能	安田 葵	助産師	能代厚生医療センター	現助産師職能委員
3	看護師職能	澤田 瑞木	看護師	由利本荘医師会病院	現看護師職能委員
4	看護師職能	守屋 陽子	看護師	在宅	現理事(看護師職能)
5	看護師職能	羽柴 昌子	准看護師	外旭川病院	－
6	能代・山本地区支部	設楽 由美子	看護師	能代山本医師会病院	元選挙管理委員会委員
7	秋田臨海地区支部	成田 雪美	看護師	秋田厚生医療センター	現理事(秋田臨海地区)

2. 予備代議員候補者(推薦委員会推薦)

(代議員数7名、任期－平成30年度1年間、所属－平成29年2月15日現在)

No	推薦区分	氏名	職種	所属施設名	協会活動歴
1	保健師職能	渡辺 智子	保健師	秋田県総務部人事課	現保健師職能委員
2	助産師職能	篠田 玲子	助産師	在宅	現理事(助産師職能)
3	看護師職能	辻 宏子	看護師	リンデンバウムいずみ	現看護師職能委員
4	看護師職能	豊嶋 純子	看護師	中通リハビリテーション病院	現看護師職能委員
5	看護師職能	林 久美子	准看護師	秋田厚生医療センター	－
6	能代・山本地区支部	今泉 沙都子	看護師	能代山本医師会病院	－
7	秋田臨海地区支部	成田 睦子	看護師	市立秋田総合病院	元教育委員会委員

New!!

研修応援 ポイントカード

新たな会員特典が平成29年4月1日からスタート!!

会員一人ひとりの能力開発、維持・向上とキャリア形成を支援するため、
会員特典事業として、研修応援ポイント事業を実施します。

事務局からのお知らせ

●研修会の受付時に、「研修応援ポイントカード」に研修の種類に応じた数のスタンプを押印します。(会員限定)

研修応援
ポイント
とは

■ ポイントがつく研修

・一般教育研修会 ・認定看護管理者教育課程(ファーストレベル等) ・公開講座

■ ポイント数

・半日研修(5時間未満)	……	1ポイント	
・1日研修(5時間以上)	……	2ポイント	
・2日以上の研修	……	4ポイント	
・10日以上の研修	……	10ポイント	例:ファーストレベル教育課程
・30日以上の研修	……	20ポイント	例:セカンドレベル教育課程

●ポイントの交換で受講料が無料

- ◆10ポイントで一般教育研修会の半日研修が無料で受講できます。
- ◆20ポイント(半日研修で使用したポイントを含めて)で一般教育研修会、公開講座の1日研修が無料で受講できます。

●留意点

- ◆ポイントカードを紛失したときは再交付しますが、不明となったポイントは無効となります。
- ◆ポイントは、他の会員との共有、合算、他の会員への譲渡はできません。
- ◆ポイントカードは無期限でご利用できます。

●事業の開始
平成29年
4月1日

事務局からの連絡・報告

平成29年度「看護の日」フェア開催

開催日時：平成29年5月13日（土）
10：00～14：45

会 場：秋田拠点センター アルヴェ
1階 きらめき広場

対 象 者：秋田県民（どなたでも参加可）、
参加費無料

平成29年度「国際助産師の日」記念行事

開催日時：平成29年5月13日（土）
10：00～14：45

会 場：秋田拠点センター アルヴェ
1階 きらめき広場

対 象 者：秋田県民、助産師を目指している看護
学生、小中学生



平成29年度「秋田県看護協会通常総会」

開催日時：平成29年6月28日（水）
9：30～15：30

会 場：秋田県総合保健センター
2階 大会議室

対 象 者：秋田県看護協会会員



平成29年度「准看護師への 通信制2年課程看護学校進学支援」

開催日時：平成29年7月22日（土）
14：00～16：00

会 場：地域医療機能推進機構秋田病院

対 象 者：県内在住の准看護師
10～15名、参加費無料

平成29年度「保健師職能交流会」

開催日時：平成29年8月7日（月）
10：00～16：00

会 場：秋田県総合保健センター
2階 第1研修室

対 象 者：保健師（会員・非会員）
参加費無料

平成29年度「地区での出前講座」 ～地域につなぐ緩和ケア～

開催日時：平成29年8月18日（金）
17：30～19：30

会 場：大曲厚生医療センター

対 象 者：看護協会員・非会員、
参加費無料



平成29年度 看護職員の就労環境改善事業 (WLB推進のための研修会)

開催日時：平成29年9月22日（金）
10：00～16：00

会 場：秋田県総合保健センター
2階 第1研修室

対 象 者：医療機関および福祉施設に勤務する看
護管理者・看護職員・医療従事者



平成29年度「県民と集う訪問看護フォーラム」

開催日時：平成29年9月30日（土）
13：00～16：00

会 場：秋田拠点センター アルヴェ
1階 きらめき広場

対 象 者：秋田県民・看護協会員・非会員、
参加費無料

今回掲載された文章や写真、個人
名・団体名については個人情報保
護法の下、他の目的には一切使用
いたしません。

編集後記

寒さも少しずつ和らぎ雪解けの季節になりました。今年度も予定通り年4回の「看護あきた」の発行を終えることが出来ました。ご協力頂いた皆様ありがとうございました。会員の皆様に看護職の頑張り、思いなどを伝えることが出来たと思います。今後も活発な広報活動をアピールしていくために、ホームページを含めたくさんのご意見・ご感想をお待ちしております。

（記：嘉藤 久仁子）

看護あきた Vol.127 平成28年度 4号

Nursing Akita



発 行 日／平成29年3月6日

発行責任者／公益社団法人 秋田県看護協会 会長

発 行 所／公益社団法人 秋田県看護協会 秋田市千秋久保町6-6 Tel 018-834-0172

印 刷 所／秋田中央印刷(株) 秋田市新屋豊町6-43 Tel 018-823-7577